

平成28年度 職人塾 報告書



職人塾

職 人 塾 実 行 委 員 会

一般財団法人玉野産業振興公社

はじめに

日本国内の景気は、数年前まで世界経済の悪化や株価の下落、急激な円高や原油価格の高騰等に歯止めがかからない状況にありましたが、最近では、輸出が緩やかに回復し、個人消費も雇用や所得が堅調な様相を見せ、持ち直しつつあるなど、明るい兆しを実感できつつあります。

玉野地域の基幹産業であります造船業はシニア世代の大量退職も一定の落ち着きを見せ、受注残も約 2 年分を確保しておりますが、依然として船舶の需給ギャップは解消されておらず、中国を中心とした新興国経済の減速による海運市況の悪化から船舶需要が低下し、先行き不透明な状況が続いているところであります。そのため、造船業に携わっている中小企業に対してもより厳しい状況が忍び寄るものと思われ、「2019 年問題」も懸念されているところであります。

しかしながら、造船関係を中心とした市内の中小企業の方々が、競争力をより拡大し、事業を安定して継続するためには、この地域に蓄積された高度な技能・技術を次世代に伝承し、今後想定される人材の空洞化を解消し、企業各社の競争力を強化していくことはこれまでと同様、極めて重要な課題であることに変わりありません。

こうしたことから、人材の確保・育成という職人塾の果たすべき役割は重要性を増しており、皆様方のご協力により 11 年目の取り組みを無事終えることができました。

各分科会で実施しました若手技術者・技能者に対する「トライアル研修」や高校生や若者に対する「ものづくり体験研修」を通し“ものづくりのまち玉野”の技術力向上、そして若者をはじめとした市民のものづくりに対する理解等が、今後定住化の促進や地域の活性化に繋がれば幸いです。

最後に、この職人塾の取り組みに多大なるご協力ご支援をいただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 29 年 3 月

職人塾実行委員会

委員長 三宅 照正

平成28年度 実施報告書

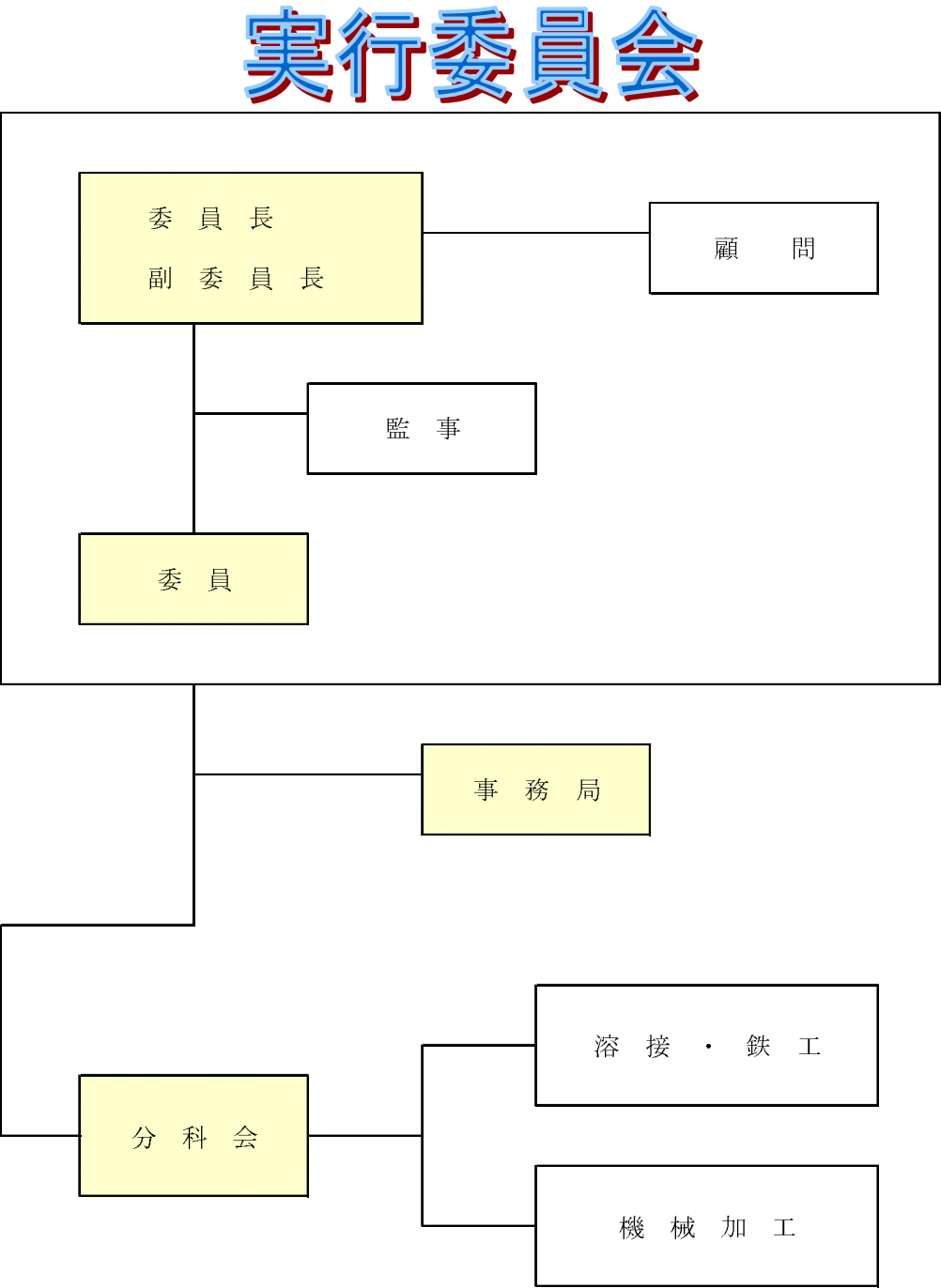
目 次

第1章	組織及び役員、分科会、講師	1
第1節	組 織	1
第2節	職人塾実行委員会	2
第3節	各分科会幹事	3
第4節	講師及び補助講師	3
第2章	事業の起源・目標・指標	5
第1節	事業の起源	5
第2節	事業の目的	5
第3節	事業の必要性	5
第3章	全体活動実績	7
第1節	全体活動スケジュール実績表	7
第2節	職人塾実行委員会総会概要	8
第3節	各分科会の会議概要	9
	(1) 溶接・鉄工分科会の議事概要	
	(2) 機械加工分科会の議事概要	
第4章	広報・啓蒙活動について	11
第1節	マリン玉野産業フェアへの参画	11
第2節	ホームページでの広報	12
第3節	新聞・広報誌等での広報	13
第4節	展示会での広報	17
第5章	トライアル研修について	19
第1節	実施計画	19
	1-1 目 的	
	1-2 トライアル研修の概要	
	1-3 受講生募集	
	1-4 講師の選定	
第2節	研修内容と状況	20
	2-1 機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修	20
	2-2 溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース	22

第3節	受講者及び講師アンケート	27
3-1	機械加工分科会	
1.	機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修【受講生】	
2.	機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修【講師】	
3-1	溶接・鉄工分科会	
1.	溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース【受講生】	
2.	溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース【講師】	
第6章	ものづくり体験研修について	39
第1節	実施計画	39
1-1	研修の目的	
1-2	研修の概要	
1-3	受講生募集	
1-4	講師の選定	
1-5	その他	
第2節	研修内容と状況	40
2-1	溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース	
第3節	受講者及び講師アンケート	43
3-1	溶接・鉄工分科会	
1.	溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース【受講生】	
2.	溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース【講師】	

第1章 組織及び役員、分科会、講師

第1節 組 織



第2節 職人塾実行委員会

役 職 名	氏 名	在 職 団 体
委 員 長	三宅 照正	協同組合マリノバージョン玉野理事長・玉野商工会議所会頭
副委員長	宮原 一也	玉野鉄工協議会会長・玉野地区雇用開発協会理事長
副委員長	大熊 力三	玉原鉄工業協同組合 理事長
副委員長	前田 和彦	三井造船玉野協力会 会長
監 事	尾崎 敬一	玉野市産業振興部長
監 事	宮地 祥一	玉野商工会議所 専務理事
委 員	佐野 正典	中国運輸局岡山運輸支局 首席海事技術専門官
委 員	丸山 浩	中国運輸局岡山運輸支局 首席運輸企画専門官
委 員	橋本 千秋	玉野公共職業安定所 統括職業指導官
委 員	三谷 昌士	玉野市立玉野備南高等学校 校長
委 員	西村 薫三	一般財団法人玉野産業振興公社 理事長
委 員	成瀬 誠	三井造船株式会社玉野事業所 総務部長
委 員	森本 展弘	三井造船玉野OB友の会 顧問
顧 問	黒田 晋	玉野市長
顧 問	村上 雅樹	中国運輸局岡山運輸支局 次長
顧 問	山田 誠	玉野公共職業安定所 所長
顧 問	板崎 彰	玉野市教育長
顧 問	田口 昭一	三井造船株式会社玉野事業所 常務取締役所長
顧 問	今岡 雄	三井造船玉野OB友の会 顧問
事 務 局	大塚 英一	玉野市産業振興部商工観光課 課長
事 務 局	清山 智保	玉野市産業振興部商工観光課 係長
事 務 局	石原 弘之	玉野市産業振興部商工観光課 主事
事 務 局	三宅 穂	一般財団法人 玉野産業振興公社 事務局長
事 務 局	小橋 弘道	一般財団法人 玉野産業振興公社 中小企業支援コーディネータ
事 務 局	柴田 圭一	一般財団法人 玉野産業振興公社 係長

第3節 各分科会 幹事

分野	分科会幹事会社		氏名
溶接・鉄工	[代表]	エム・イー・エス特機株式会社 代表取締役社長 取締役副社長 総務部長 製造部長 製造部長補佐 経理課長 総務課長 三国工業株式会社 代表取締役社長 取締役 課長	中村 啓二 原 保明 前原 守 藤原 博道 田中 亨 池内 勝己 梶原 勇治 三宅 照正 三宅 正倫 細谷 静男
	技術顧問	三井造船株式会社玉野事業所 三井造船玉野OB友の会 勤労課長補佐 実技講師主任	谷野 健成 渡部 一成
機械加工	[代表]	近藤工業株式会社 株式会社大熊製作所 株式会社宮原製作所 長尾鉄工株式会社 代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役社長 取締役製造部長 製造部長	近藤 幸宏 大熊 力三 宮原 一也 弟子丸 淳二 末長 忠
	技術顧問	三井造船株式会社玉野事業所 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部 岡山職業能力開発促進センター 機械工場加工部長 訓練課長	前川 浩司 北崎 弘勝

第4節 講師及び補助講師 (順序不同)

分野	氏名
溶接・鉄工	渡部 一成、原 和義、大野 一郎、毛利 利夫、野上 進、谷野 健、宇田 勉、小野 直洋、永野 浩、木口 英之、吉田 一成、森 友紀雄、長畑 知宏、長吉 伸一、吉田 裕、片岡 龍二、大澤 学、西村 卓也、宮成 誠、橋本 拓也、藤原 豊、前原 守、國吉 健、妹尾 修治、平田 大將、杉本 正規、松本 大地、古谷 啓太郎、植木 修治、松成 勇、市村 貴泰、橋本 良平、八木田 雅義、奥川 俊徳、上野 茂治、難波 康男、合原 寛、浅越 渉、若田 達明、木村 光正、的場 俊彦、上山 伸次、筒井 康裕、中川 芳正、宗綱 廉、山田 敏之、蒲田 弘、三澤 賢太、玉積 正司、瀬戸 建次、福家 和夫、川垣 博之、大源 勇未、田中 亨、永畑 光一、山野 博章、藤原 一三、原田 佑也、岩月 隆明、近藤 昌志、坂本 喜一、山本 喜崇、澁鋤 聡之、中川 直也、岡田 直也、内田 豊久、大池 靖人、堀川 幸孝、仕田原 克仁、大賀 勝彦、大賀 一男、竹並 覚、下村 修平、石井 大樹、柴田 繁、藏本 圭太、溝口 顕、大本 祐介、天川 武士、池内 勝己、梶原 勇治、安部 利和、奥 敦海、前田 弘之、稲田 圭佑 (85名)
機械加工	塩川 寛人、三嶋 保夫、伊加 勝 (3名)

第2章 事業の起源・目標・指標

第1節 事業の起源

玉野市は、これまで造船を中心とする機械工業のまちとして発展してまいりました。しかし、近年少子高齢化、高学歴化、若者の製造業離れ、更には団塊世代の大量に定年退職と言う転換期を迎え、製造業における後継者問題、衰退等が大いに懸念される状況になっていました。

平成18年度に市内製造業関係者の約2,000名にアンケート調査を実施したところ、50代、60代以上が約5割を占めており、ここ10年以内に当市内でも現実問題としてその影響が課題として解りました。

このことにより、これまで培ってきた技術が薄れていくことや製造業自体の衰退、まちの衰退に繋がるのではないのかとの懸念が設立のきっかけになりました。

この様な状況の中、平成18年度に内閣官房都市再生本部の都市の再生助成事業に応募し、全国都市再生モデル調査として“「技術のまち玉野」再生。若者就労支援策キャリア形成職人塾設立に関する調査事業”として採択を受けたのが起源です。

第2節 事業の目的

中小型造船機械工業等における技術・技能水準の維持発展を図ることを目指し、新規に就業する若者等へ基礎的技術を学ばせると共に、中堅技術者が高度な技術を身につけるため、熟練技術者が保有する機械加工や溶接等の技術について体系化等を進めるなど、その習得基盤を整備することにより機械工業の振興に寄与するものです。

第3節 事業の必要性

若者に対し、ものづくりの喜びやこれまで培われた技術や技能を伝承するとともに、中堅技術者に一層高度な技術習得を促し、また、市民等に改めて製造業に対する感心を高め、定住促進を図るものです。

このことは、中小型造船機械工業等における技術及び技能を伝承していく基盤を整備し、その確立を図るとともに製造業に従事している若者や市民に対し地域の機械工業に対する理解を広めることの重要な意義を有しており、きめ細やかな地域の中小企業の支援となります。

第3章 全体活動実績

第1節 全体活動実績表

平成28年度 職人塾 全体活動実績表

実施名称	平成28年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実行委員会												
実行委員会総会・産業フェア	◎ 実行委員会総会 (4/27)			◎ 産業フェア開催 (7/20)								
専門分科会の開催 ☆溶接 ☆機械		★	★	★			☆	☆	☆		☆☆	
各分科会予算関係	⇄ 配分									執行		
その他	◎ 2016 国際フェルデンギンジャー出講 (4/14)											
トライアル研修												
講師の委嘱		機械			溶接・鉄工							
プログラム・カリキュラムの作成	機械		溶接・鉄工									
テキストの作成												
トライアル研修の募集					溶接・鉄工							
トライアル研修の実施												
溶接・鉄工 一般コース					三井造船 研修センター 9/3～12/10 4回×14回				★	資格試験 (12/15)		
機械加工 製品の基礎及び計測研修			5/26～6/9 全2回×2セット									
体験研修												
講師の委嘱	⇄	⇄										
プログラム・カリキュラムの作成	⇄	⇄	⇄	⇄								
テキストの作成			⇄	⇄								
体験研修の募集				⇄								
溶接・鉄工 機械インターンシップ			● 広瀬・郡家管内	7/29～7/28 3回×1日 三井造船 7回×2日	7/27～7/28 産業関係者							
ホームページの作成・広報	⇄										⇄	
次年度事業計画の作成											⇄	
実施成果のとりまとめ											⇄	

職人塾実行委員会事務局

第2節 職人塾実行委員会総会の概要

平成28年4月27日（水）平成28年度 職人塾実行委員会 総会 開催

出席者：33人



議 事

- 議案第1号 委員長、副委員長及び監事の選任について
- 議案第2号 役員、顧問、幹事の選任について
- 議案第3号 平成27年度事業報告について
- 議案第4号 平成27年度収支決算報告について
- 議案第5号 平成28年度事業計画(案)について
- 議案第6号 平成28年度収支予算(案)について
- 議案第7号 溶接・鉄工分科会の事業計画(案)について
- 議案第8号 機械加工分科会の事業計画(案)について

平成28年5月3日
山陽新聞玉野圏版

インターンや若手研修 職人塾 事業計画決める

2016年度事業計画などを決めた職人塾実行委の総会



造船関連を中心とし、国運輸局などから33人承を旨とする「職人塾」が出席。王委委員長がの発行委員会、委員長・三宅照正玉野商工会議所会頭は4月27日、2016年度総会を産業振興ビルで開き、事業計画などを決めた。実行委を組織する市

内、造船関連企業、中運輸局などから33人承を旨とする「職人塾」が出席。王委委員長がの発行委員会、委員長・三宅照正玉野商工会議所会頭は4月27日、2016年度総会を産業振興ビルで開き、事業計画などを決めた。実行委を組織する市

議事は、16年度の事業計画案などを承認した。溶接・鉄工は経験年数ごとに分かれる「一般コース」を9、12月に14日間、高校生向けの「模擬インターンシップコース」を7月下旬に5日間の日程で実施。機械加工は、若手社員を対象にした「製図の基礎および計測研修」を5、6月に行う。

職人塾は06年にスタートした。（岡本遥加）

第3節 各分科会の会議概要

個別に分科会毎に適時会議を開催し、必要分野毎につき協議決定し本塾の運営を円滑に実施推進した。

(1) 溶接・鉄工分科会の議事概要

No.	日 時	場 所	内 容
1	平成 28 年 6 月 10 日	三井造船 技能研修センター	・ 模擬インターンシップコース 受講生募集について ・ 模擬インターンシップコース 講師・補助講師の選出及び委嘱について ・ 溶接 一般コース 受講生募集及び対象について ・ 溶接 一般コース 研修カリキュラムについて ・ 溶接 一般コース 講師の選出等について 他
2	平成 28 年 7 月 21 日	エム・イー・エス 特機 会議室	・ 模擬インターンシップコース モデルシップ作成講師打合せ
3	平成 28 年 10 月 4 日	三井造船 技能研修センター	・ 溶接 一般コース 材料手配打合せ
4	平成 28 年 11 月 24 日	エム・イー・エス 特機 会議室	・ 溶接 一般コース 材料加工打合せ
5	平成 28 年 12 月 15 日	三井造船 技能研修センター	・ 模擬インターンシップコース、溶接 一般コース 改善検討
6	平成 29 年 1 月 24 日	エム・イー・エス 特機 会議室	・ 事業運営マニュアル整備打合せ
7	平成 29 年 2 月 2 日	三井造船 技能研修センター	・ 平成 28 年度分科会活動完了報告、事業評価 ・ 平成 29 年度の活動についての検討

(2) 機械加工分科会の議事概要

No.	日 時	場 所	内 容
1	平成 28 年 5 月 13 日	産業振興ビル グループ研究室①	・ 製図の基礎及び計測研修 受講申込状況について ・ 製図の基礎及び計測研修 研修日程について ・ 製図の基礎及び計測研修 実施に伴う準備物について ・ 製図の基礎及び計測研修 開催場所について ・ 製図の基礎及び計測研修 講師の配置について
2	平成 29 年 2 月 10 日	産業振興ビル グループ研究室②	・ 平成 28 年度分科会活動完了報告、事業評価 ・ 平成 29 年度の活動についての検討

第4章 広報・啓蒙活動について

第1節 マリン玉野産業フェアへの参画

1-1 事業概要

マリン玉野産業フェアは、玉野公共職業安定所や玉野地区雇用開発協会等が主体となって、来春の就職を目指す高校生、求職中の市民等に地域の企業を紹介し、当市の製造業の実態を理解してもらうもので、その中において職人塾の事業紹介パネル及びモデルシッブを展示し、ものづくりに関する熟練の技をPRすると共に、製造業への興味の喚起を促した。

平成28年7月20日開催

参加者：岡山県内外の高校生167名（24校）

状況写真



第2節 ホームページでの広報

「職人塾」の実施にあたり、本塾の実施計画、実施時期、科目、募集要項等を適時ホームページに掲載し広く公開することによって、ものづくりに対する興味の喚起と研修への参加を促した。

<http://www.zai-tama7.or.jp/>

- ・ 募集要項の掲載 平成 28 年 4 月 及び 随時更新

一般財団法人 玉野産業振興公社

最終更新日: 2016/12/21

トップページ アクセスマップ 産業振興ビル 産業振興センター 勤労福祉S.C. ダウンロード リンク 管理者にメール

玉野勤労福祉サービスセンターのホームページが新しくなりました!! 上段中央のアイコンをクリックで確認できます!

一般財団法人 玉野産業振興公社

住所・電話番号・FAX	更新情報	お知らせ＆参加者募集
〒706-0002 玉野市築港1-1-3 TEL: 0863-33-5000 FAX: 0863-33-5001	☆2016年12月21日 主な更新内容☆ 『平成28年度職人塾』実施要項及び研修概要を更新しました。	玉野勤労福祉サービスセンター専用のホームページリンク 平成28年度職人塾『実施要項及び研修概要(12/21更新)』PDFファイル(222KB)
アクセスカウンター 000154412	☆2016年08月05日 主な更新内容☆ 『平成28年度職人塾』実施要項及び研修概要を更新しました。	平成28年度職人塾 溶接 一般コース平成28年12月10日に閉講しました。 平成27年度職人塾 溶接 一般コース(PDFファイル24.3MB)
施設申請用紙ダウンロード 申請書ダウンロードページへ その他ダウンロード PDFファイルを開覧するためには、Acrobat Reader (アドobeリーダ)が必要です。お持ちでない場合は、下記よりダウンロードして下さい。 Get Acrobat Reader デジタルシグネチャダウンロード (PDFファイル0.01MB) 玉野産業振興公社 個人情報保護協議 (PDFファイル222KB)	☆2016年07月15日 主な更新内容☆ 『平成28年度職人塾』実施要項及び研修概要を更新しました。 平成28年度職人塾 溶接 一般コース受講生募集案内を掲載しました。	平成28年12月21日現在の月極駐車場予約待ち台数 : 35台

本サイトは、「一般財団法人 玉野産業振興公社」オフィシャルホームページであり、
掲載によって管理・運営されています。
本サイトの内容を、無断で複製・改変および放送・有線送信等に
利用することは固く禁じます。
Copyright(C)2008 Tamano Sangyo Shinko Kenya ALL RIGHTS RESERVED.
Powered by Adobe Dreamweaver CS3
ALL DESIGNED by Kenichiro Kawamoto
Updated by k.s.

第3節 新聞・広報誌等での広報

市民に対し、当塾の活動内容の広報や募集要項を発信することにより、参加意識の高揚と興味の喚起を図った。

平成28年度版 交通政策白書

民間の取組事例

○ 地方自治体と連携した技術・技能の維持・継承の取組による若者の雇用・育成（岡山県玉野市）

岡山県玉野市は、市内就業者数の約20%、市内企業数の約6%を造船業が占め、地場企業や大手企業の下請け企業が数多く存在しており、戦前から造船の企業城下町として繁栄してきたが、現在では造船業を支える技能人材の高齢化や空洞化は著しく、シニア世代が大量に退職した後の人材確保が喫緊の課題となっている。

そこで、地元の造船関連企業や関連自治体等が連携し、シニア層の地域での活躍の場を創出するとともに、高校生等の若者をはじめとする市民のものづくりに対する興味の掘り起こしを行うことで若者の流出を防ぎ、活力ある「技術のまち玉野」の再生を目指すため、「職人塾」という取組を行っている。

「職人塾」では、高校生を対象としてインターンシップ研修を行うとともに、シニア世代が有する技術・技能を着実に次世代に伝承させるため、シニア世代が講師となって、求職者や造船関連企業の社員に対し、溶接鉄工の分野と機械加工の分野でそれぞれ研修を行っている。

このような取組の結果、インターンシップ受講生のうち毎年数名程度、また溶接鉄工・機械加工の研修を受けた求職者のうち半数近くがそれぞれ地場造船関連企業に就職するなど、技術・技能の伝承と若年層人材の確保に成功している。

平成28年7月27日
山陽新聞玉野圏版

三井造船で職人塾インターンコース
製造業現場の
雰囲気体験
玉野商高2年生
高校生が製造業の現場を体験する「職人塾インターンシップコース」



開講式で抱負を述べる玉野商高2年生
「が28日まで、三井造船玉野事業所などで開かれている。玉野商高2年生23人が計5日間、溶接や模型船作りに挑戦している。職人塾は、造船を中心としたものづくりの技術伝承を目指す、市内の造船関連企業などでつくる実行委が2006年から毎年実施。同コースには今回、男子20人、女子3人が参加し、企業の技術者36人が講師を務めている。職人塾は2分科会があり、溶接・鉄工分科会が同コースと経験年数に応じた「一般コース」、機械加工分科会が若手社員対象の「製図の基礎および計測研修」を開いている。（岡本遥加）

生徒たちは25、26日に溶接やガス切断などの実習を同事業所で行い、27、28日は5万6千トンのばら積み貨物船の100分の1スケール模型を産業振興ビルで製作。模型は歴代の同コース参加者が少しずつパーツを加えて作り継いでいる。

業への就職を希望しているの、多くのことを学びたい」「職業選択の参考に」「などと一人ずつ抱負を述べた。

平成 28 年 8 月号
広報たまの

講座・講演

職人塾 ものづくり
技術・技能教育研修
受講生募集

■コース／溶接一般コース
■期間／9月3日～12月10日の毎週土曜日（全14回）8時～12時
※10月15日（土）は休講予定
■場所／三井造船技能研修センター
■対象者／市内在住または在勤の中小企業従業員及び

求職者

■定員／20人程度
■料金／1万円
■内容／基礎知識、JIS資格試験レベルの技術・技能の習得
■締切／8月18日（木）
■申込み・問合せ／（一財）玉野産業振興公社
☎ 33・5000

玉野市職人塾に高校生23人
「進路の参考に貴重な体験」

2016年度職人塾「模擬インターンシップ」が7月23～28日の6日間、岡山県玉野市の三井造船玉野事業所や溶接・切断の講習、モデルシブの製作を行った。高校生に地元の製造業へ就職してもらい、次世代へ技能を継承したいとの目的から、井造船玉野事業所内の技



玉野市立商業高校2年生の23人（うち女子3人）が参加した「職人塾」

2016

図面を切り抜いてモデルシブを製作しながら、構造や製造過程を具体的に学んだ。
受講後のアンケートでは7割の受講者が「将来製造業への就職を希望」と答え、普段学校で体験できないことができた。「物を作ること、楽しさを体感することが、工業関係者によって構成される」「今後も継続して欲しい」「進路に向けて具体的なイメージをつかむことに役立った」と。
近年、進んでいる若手高齡化や後継者の急激な減少が課題となる中、特に造船を中心とする機械工業の街として発展した玉野市は、産業の基盤が厚い。

平成 28 年 8 月 23 日
溶接ニュース

[illegible]

平成 28 年 12 月 13 日
山陽新聞玉野圏版

溶接技能試験頑張って

20 人に職人塾修了証書

ものづくりの技能継承を目指す 2016 年度「職人塾」(市内の造船関連企業などで行う実行委主催)の溶接一般コースの開講式が 10 日、三井造船玉野事業所内の技能研修センターで開かれ、研修を終えた 10、40 代の 20 人が修了証書を受け取った。



修了者をはじめ、講 師を務めた事業所の作 社の職員ら約 40 人が出

席。三宅照正実行委員長(玉野商工会議所会頭)が「皆さんは研修を通じ、技術的にも人間的にも成長した。自信を持って仕事に取り組んでほしい」と激励。代表の新井雄大さん(24)「タマダン工業」に修了証書を手渡した。

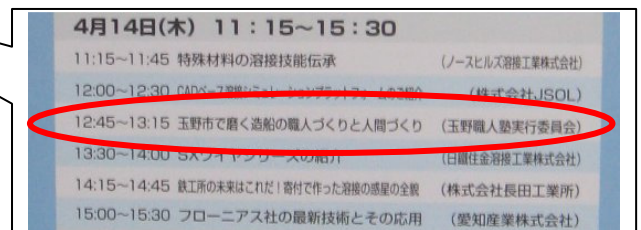
修了者は 9 月 3 日の開講以来、14 回にわたって実技研修と座学を受講。15 日には集大成として日本工業規格(JIS)の溶接技能適格試験に挑戦する。山下翔大さん(18)「三國工業」は「基本から丁寧に教えていただいた。試験では期待に応えられるように頑張る」と話していた。

職人塾は造船のまちで培われた技術力の継承を目的に 06 年度にスタート。溶接一般コースのほか、高校生向けの模擬インターンシップコース、機械加工の製図の基礎および計測研修がある。

(正本和臣)

第3節 展示会での広報

平成 28 年 4 月 13 日から 4 日間、インテックス大阪で開催された「2016 国際ウエルディングショー」にて溶接・鉄工分科会 実技講師主任の渡部 一成氏が講演を行い、当塾の活動内容についての広報を行った。



第5章：トライアル研修について

第1節 実施計画

1-1 目 的

企業従事者、一般市民、求職者等を対象に機械器具製造業についての技術・技能水準の維持発展を目指し座学・実習の研修を行い、機械工業の振興並びに地域市民のものづくりへの関心の喚起を促すものである。

1-2 トライアル研修の概要

各研修コース概要一覧

分科会	研修名	受講生数	研 修 概 要	時 間	期 間	場 所	対象者
機械加工	製図の基礎及び計測研修	13 名	図面の見方、計測器の取り扱い	12 時間	5/26～6/9 6 時間×2 回 ※2 グループ	産業振興ビル 3 階 会議室	一般
溶接・鉄工	溶接一般コース	20 名	溶 接 技 術 ・ 技 能 の 座学及び実習 ・ CO ₂ 半自動溶接の JIS 資格受験対策他	56 時間 座学 14 時間 実技 42 時間	9/3～12/10 4 時間×14 回 毎週土曜日	三井造船(株) 技能研修センター	一般 及び 求職者

1-3 受講生募集

玉野産業振興公社のホームページ、玉野市広報、玉野公共職業安定所、各企業への受講生募集活動を行い、企業の従業員や求職者を対象として研修を実施した。

1-4 講師の選定

これまでの講師実績を基にご協力いただいた企業の社員及びOB社員より選定した。

第2節 研修内容と状況

2-1 機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修

製図の基礎及び計測研修のプログラム

		Aグループ（受講生7名）		Bグループ（受講生6名）	
		第1回 5月26日(木)	第2回 6月8日(水)	第1回 5月27日(金)	第2回 6月9日(木)
		産業振興ビル 3階 展示・会議室	産業振興ビル 3階 展示・会議室	産業振興ビル 3階 技術研修室	産業振興ビル 3階 展示・会議室
9:30 ～ 12:00	図 面 の 見 方	製図の基礎 図形の表し方	寸法公差 はめあい	製図の基礎 図形の表し方	寸法公差 はめあい
		練習問題 (第三角法第一角法) 寸法記入法	幾何公差 表面性状	練習問題 (第三角法第一角法) 寸法記入法	幾何公差 表面性状
昼 休 み					
13:00 ～ 16:20	計 測 ・ 測 定	測定器の取り扱い ・マイクロメータ ・シリンダーゲージ ※テストピース 小	測定器の取り扱い ・マイクロメータ ・シリンダーゲージ ※テストピース 大	測定器の取り扱い ・マイクロメータ ・シリンダーゲージ ※テストピース 小	測定器の取り扱い ・マイクロメータ ・シリンダーゲージ ※テストピース 大

研修写真（製図の基礎及び計測研修）



2-2 溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース

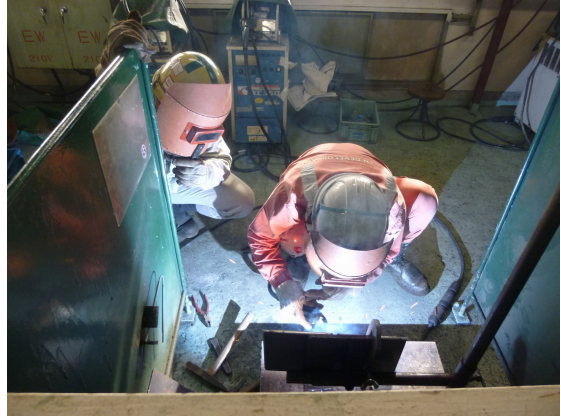
溶接 一般コースのプログラム

No.	実 施 日	研修時間	研 修 内 容
第 1 回	9 月 3 日(土)	開講式 8:00 ～	
		座学 ～ 9:30	安全教育 ・三井造船㈱玉野事業所 構内に於ける規則及び一般安全、 注意事項教育 ・一般コース内容及び溶接作業向け安全教育
		実技 9:40 ～ 12:00	手溶接(アーク)溶接機の取扱い及び学習 ・アーク溶接機の取扱い ・アーク溶接下向き水平ストレートビード実習 ・アーク溶接下向き水平ウィングビード実習 ・アーク溶接下向き水平・隅肉多層盛り実習
第 2 回	9 月 10 日(土)	座学 8:00 ～ 9:00	CO ₂ 溶接機の特性を学習 ・溶接機の構造と操作、電気の知識 ・半自動溶接機の知識、半自動溶接機と取り扱い
		実技 9:05 ～ 12:00	手溶接(アーク)溶接実習 ・アーク溶接下向き水平多層盛り実習 ・アーク溶接下向き隅肉多層盛り実習 ・アーク溶接立向き上進隅肉多層盛り実習
第 3 回	9 月 17 日(土)	座学 8:00 ～ 9:00	溶接作業管理 ・溶接方法の種類と特性
		実技 9:05 ～ 12:00	手溶接(アーク)溶接実習 ・アーク溶接下向き隅肉多層盛り実習 ・アーク溶接立向き上進隅肉多層盛り実習 ・アーク溶接立向き下進隅肉多層盛り実習
第 4 回	9 月 24 日(土)	座学 8:00 ～ 9:00	溶接部の検査方法を学習 ・試験と検査、破壊検査、非破壊検査
		実技 9:05 ～ 12:00	手溶接(アーク)溶接実習 ・アーク溶接下・立向き全姿勢修了溶接
第 5 回	10 月 1 日(土)	座学 8:00 ～ 9:00	鉄鋼材料と溶接材料を学習 ・鉄鋼材料、鋼溶接部の材質変化 ・溶接性、鋼のじん性と遷移温度 特殊材料の溶接知識を学習 ・ステンレス鋼の溶接 ステンレス鋼の種類、溶加材の選定 ・アルミニウムの溶接 アルミニウム合金の種類 アルミニウム合金の溶接は何故難しい？
		実技 9:05 ～ 12:00	半自動(CO ₂)溶接機の取扱い及び学習 ・CO ₂ 溶接機の取り扱い ・CO ₂ 溶接下向きストレート、ウィングビード実習 (前進法、後退法) ・CO ₂ 溶接下向き多層盛り実習
第 6 回	10 月 8 日(土)	座学 8:00 ～ 9:00	溶接施工、溶接欠陥対策を学習 ・溶接施工、溶接欠陥対策
		実技 9:05 ～ 12:00	罫書きの仕方と墨壺の使い方を学習 ・墨壺、墨さしの使用方法 ・墨壺を使用して直線と曲線の引き方等 ・コンパスを使用しての直角、円の出し方

第 7 回	10 月 15 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	可燃ガス及び酸素の知識を学習 ・ ガス溶接などの設備の構造及び取扱い ・ 災害事例、関係法令
		実技 9:05 ~ 12:00	ガス・酸素の取扱いの学習 ・ 手動切断、定規コンパスによる切断の実習 ・ 数字、記号手動切断の学習
第 8 回	10 月 29 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	溶接施工に必要な知識を学習 ・ 溶接記号、溶接継ぎ手設計上の注意 ・ 溶接による変形と残留応力
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動溶接 ・ CO ₂ 溶接下向き隅肉多層盛りを実習（前進法、後退法） ・ CO ₂ 溶接立向き(上進)多層溶接
第 9 回	11 月 5 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	図面の見方と組立方法を学習 ・ 造船組立、船の組立方法 ・ 造船図面の見方 ・ 溶接縮み代の考え方等
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動溶接 ・ CO ₂ 溶接下向き隅肉多層盛りを実習 ・ CO ₂ 溶接立向き(上進)隅肉多層盛りを実習 ・ CO ₂ 溶接立向き(下進)隅肉多層盛りを実習
第 10 回	11 月 12 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	鋳鋼、鋳鉄の溶接知識を学習 ・ 鋳鋼、鋳鉄の溶接知識
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動溶接 ・ CO ₂ 溶接下・立向き全姿勢修了溶接 ・ CO ₂ 溶接下向き裏当金あり突合せ溶接
第 11 回	11 月 19 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	圧力容器の溶接知識を学習 ・ 圧力容器の種類と規格、圧力容器とは （種類、圧力容器の強制法規・規格）
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動溶接 ・ CO ₂ 溶接下向き裏当金あり突合せ溶接 ・ CO ₂ 溶接立向き裏当金あり突合せ溶接 ・ CO ₂ 溶接横向き裏当金あり突合せ溶接
第 12 回	11 月 26 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	・ 学科試験受験準備講義(No.1、2)
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習<CO ₂ 溶接下・立・横向> ※JIS 評価試験材料での実技
第 13 回	12 月 3 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	・ 学科試験受験準備講義(No.3、4)
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習<CO ₂ 溶接下・立・横向> ※JIS 評価試験材料での実技
第 14 回	12 月 10 日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	・ 学科試験受験準備講義(No.5)
		実技 9:00 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習（試験当日の学科、実技の注意事項） ・ JIS 受験練習<CO ₂ 溶接下・立・横向> ※JIS 評価試験材料での実技
		閉講式	

研修写真（溶接 一般コース）





第3節 受講生及び講師アンケート

3-1 機械加工分科会

1. 機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修【受講生】
2. 機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修【講師】

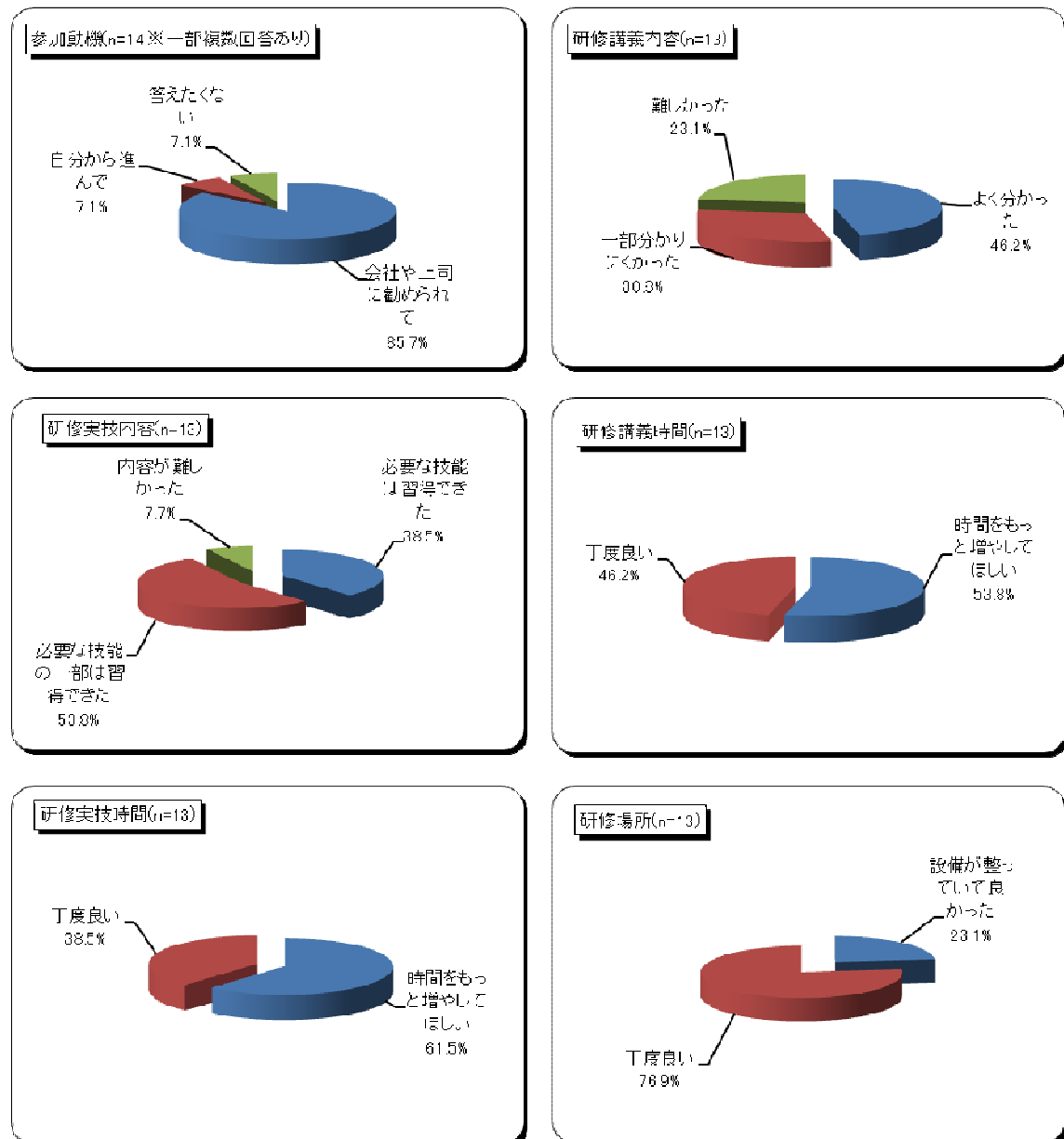
3-2 溶接・鉄工分科会

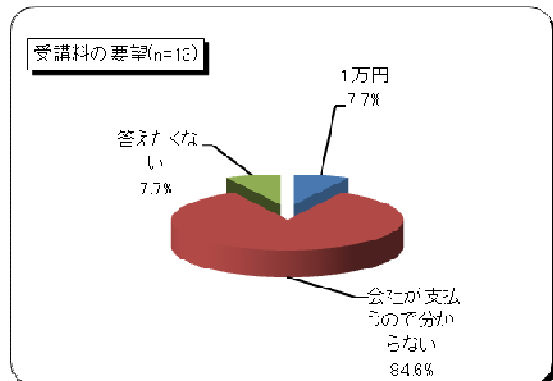
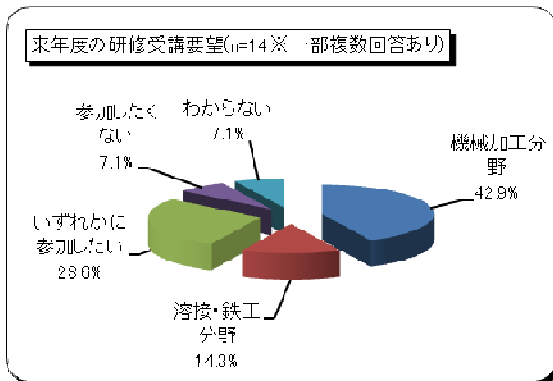
1. 溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース【受講生】
2. 溶接・鉄工分科会 溶接 一般コース【講師】

3-1 機械加工分科会

1. 機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修【受講生】

本項は、平成 28 年 5 月 26 日から平成 28 年 6 月 9 日まで（延べ 2 日間×2 グループ）に実施した「機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修」の受講生 13 名からのアンケート回答についてまとめたものです。





研修の希望等

- 何か1つの課題について、詳しく時間をかけて講習してほしい。
- 1つ1つの技能の説明を行ってほしい。
- 機械を扱うので、その面で重要なことを教えてほしい。
- 野書線のある製図(作図)の講義。
- 特にありません。

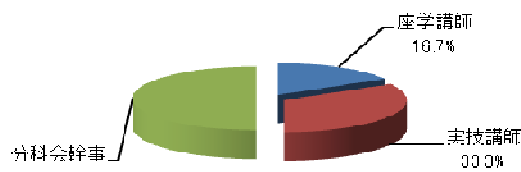
研修の感想

- 普段、図面を見ながらの作業が多いので、寸法公差や幾何公差の詳しい事が学べて良かった。
- マイクロメーターは使用した事があったが、シリンダーゲージは使用した事が無かったので、普段扱わない計測器に触れることができて良かった。
- 内容は難しかったけど、これからの仕事に活かしていければと思います。
- 自分の苦手な分野が理解できて、少し克服できました。
- 少しでも図面のことが分かるように説明してもらい、助かりました。少しだけ図面のことが分かりました。
- 自分が知らないことをたくさん学べて良かったです。これらのことは、会社に戻ってから役に立つと思うので頑張っていきたいです。
- とても分かりやすかったので良かったです。また機会があれば参加したいと思います。
- 計測の時間をもっと増やしたらいいと思います。
- 製図を現場で毎日見ているので、ちょっとでも図面を読めるようになれて良かったです。
- 計測をしてみて大幅に違うところはありませんでしたが、機械職場なのできっちり測定できるように現場で経験を積みたいと思います。
- 今後必要になることばかりなので、会社に戻ってから役立てたい。
- 図面の見方に多少の自信ができました。また、普段使用しない測定器具を使用できたのが良かったです。
- 講義、実習共にもう少し時間に余裕があれば、尚良かったと思います。受講して測定機器の使用方法など習得できたのは良かったです。
- 講義の補足説明があったのは良かったが、時間配分を考えてほしかった。

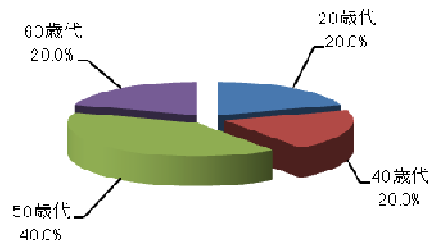
2. 機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修【講師】

本項は、平成 28 年 5 月 26 日から平成 28 年 6 月 9 日まで（延べ 2 日間×2 グループ）に実施した「機械加工分科会 製図の基礎及び計測研修」の講師及び運営関係者 5 名からのアンケート回答についてまとめたものです。

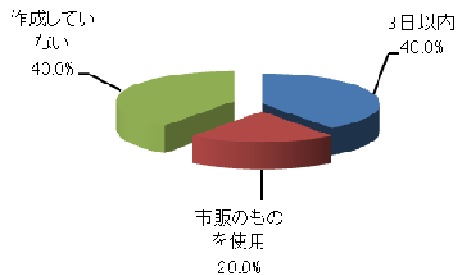
担当 (n=6 ※複数回答あり)



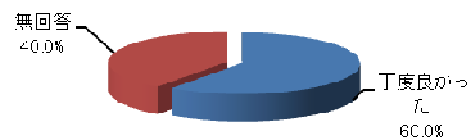
講師・補助者年齢層 (n=5)



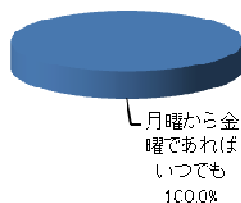
教材の編集・作成時間 (n=3)



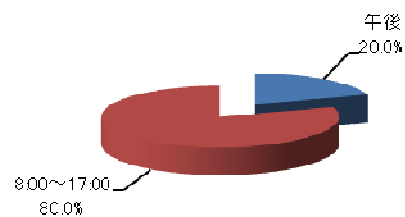
研修内容～研修生にとって適度であったか?～ (n=5)



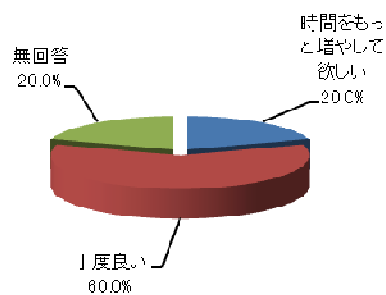
研修の日時について ①曜日 (n=3)



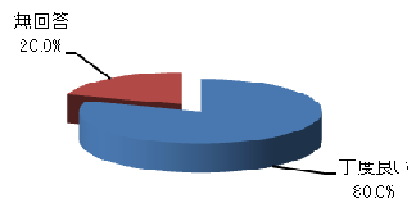
研修の日時について ②時間帯 (n=5)



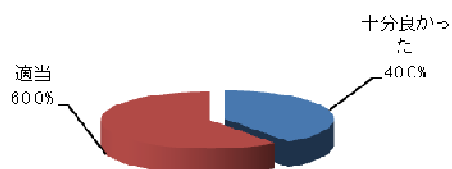
座学研修の日程について (n=5)



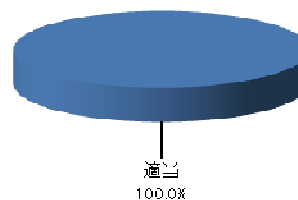
実技研修の日程について (n=5)



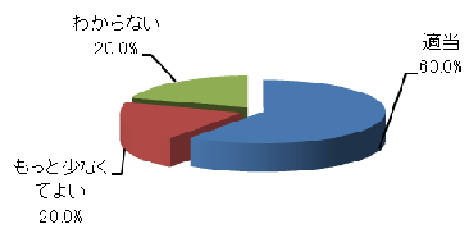
研修の場所や設備について (n=5)



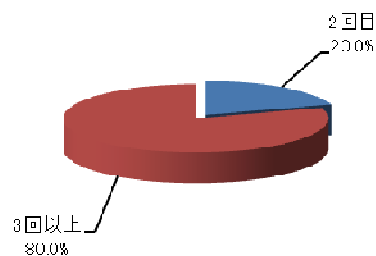
講師・補助者の配置について (n=5)



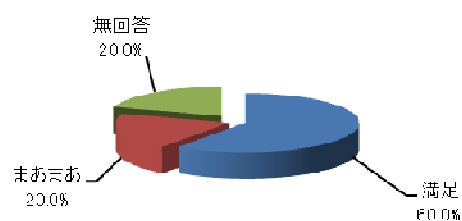
講師料について (n=5)



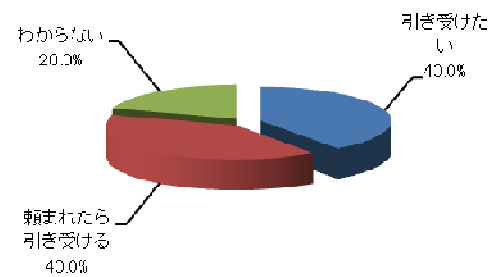
講師・補助者の経験回数について (n=5)

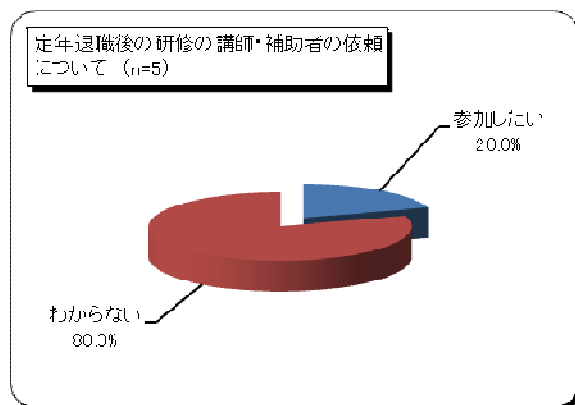


研修の満足度について (n=5)



次回研修の講師・補助者依頼について (n=5)





研修目標についての希望

- 特になし

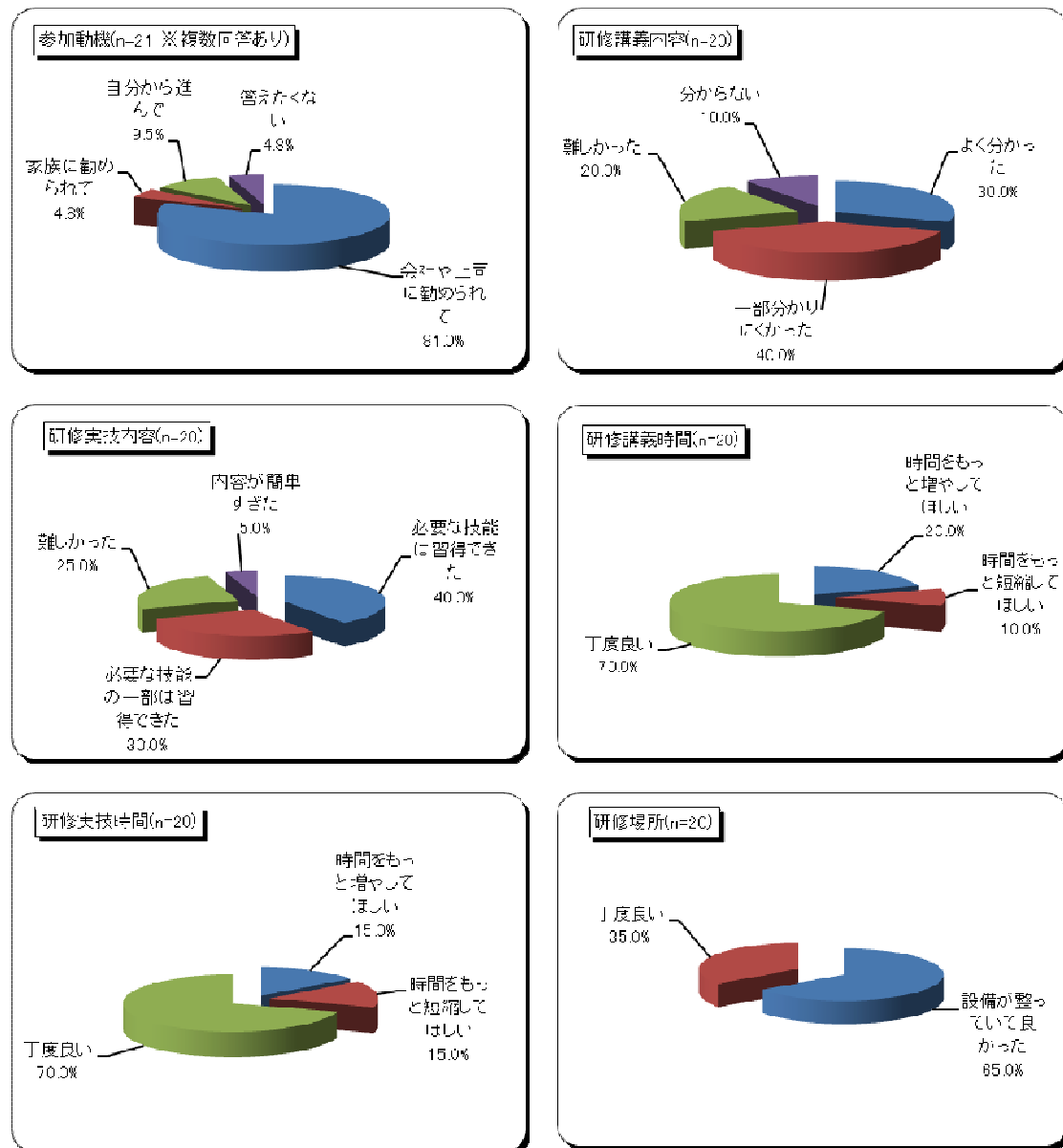
研修についての感想

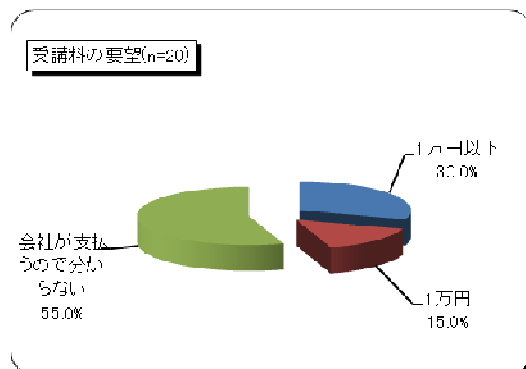
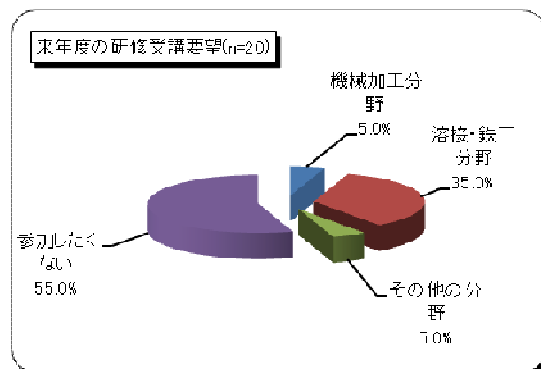
- 担当させていただき、有難うございました。

3-2 溶接・鉄工分科会

1. 溶接・鉄工分科会 一般コース【受講生】

本項は、平成28年9月3日から平成28年12月10日まで（延べ14日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 一般コース」の受講生20名からのアンケート回答についてまとめたものです。





研修の希望等

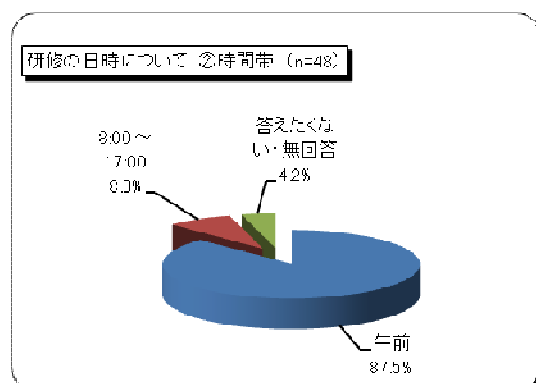
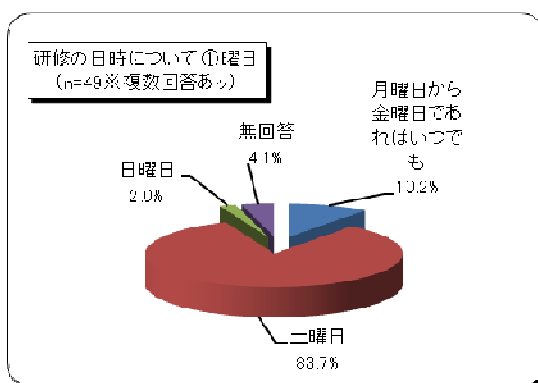
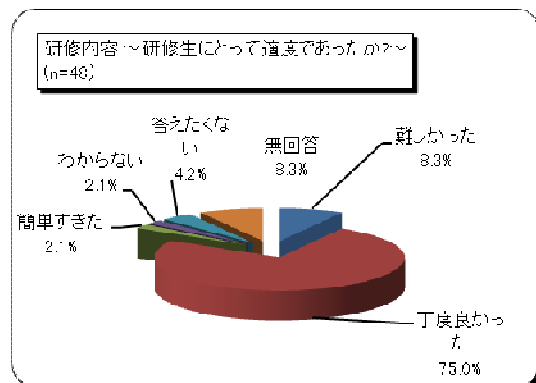
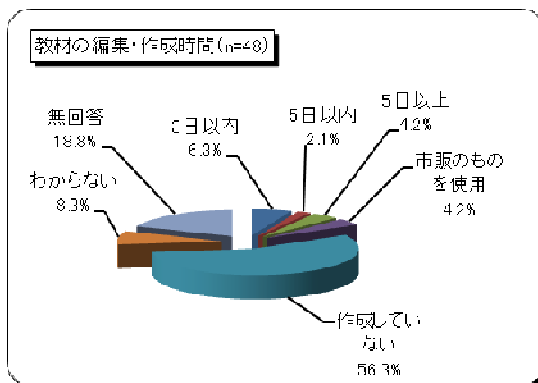
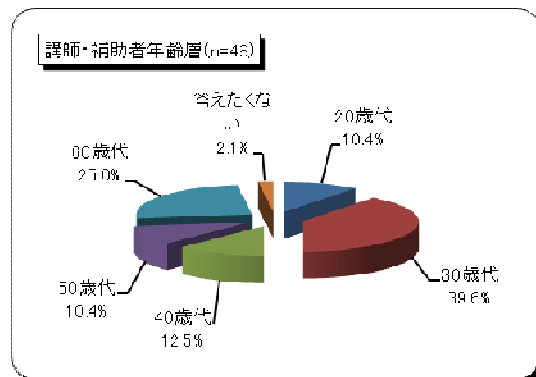
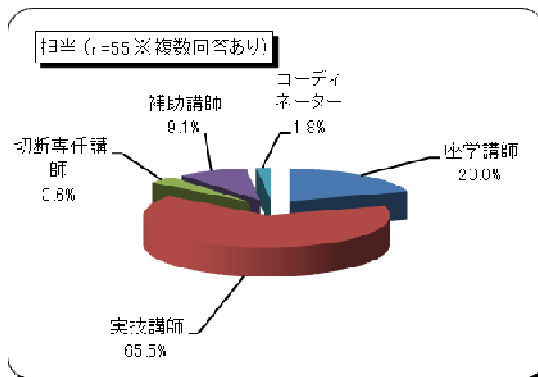
- 実技時間を減らして学科時間を増やしてほしい。
- 受験の手引きを使い、スムーズに進めてほしい。
- ティグ等も教えるようにしてほしい。
- 実施日時を平日などにしてほしい。
- 指導者を変えずに教えてほしかった。
- 講義の時間を個人的に増やしてほしい。理由は、講師によって JIS の説明が分かりやすい人もいれば、分かりにくい説明の人もある為。学科の時間をもう 30 分ぐらい伸ばしてほしい。
- 実施日時の変更。夏の土曜日午前中の 3 時間を 8 回位。

研修の感想

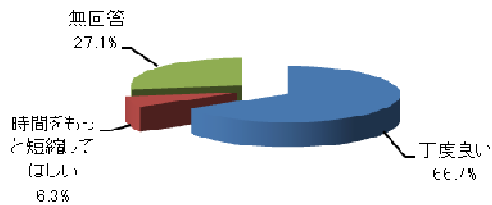
- 先生の教え方が、とても分かりやすくて良かった。
- 自分が知らなかった技術を身につけることができて、とても良かったです。
- 講師の方々の人柄が素晴らしかった。
- 溶接について知らなかった知識を学ぶことができた。
- 半自動の基礎が少し分かるようになったので良かったです。
- 会社では身に付けることのできない技術を身に付けることができた。
- 実技の分野ではしっかりと見ていただき、自分でも気が付かなかった弱点やクセなどが分かるようになった。講義の分野では、自分で考えることが少なく、話が右から左へ流れることがあったので、少し話が難しく感じられた。
- いつもの作業と違うことができてよかった。
- 正直言って、休みの日に来るのはキツかった。実技の時間を短縮してほしい。
- 3ヶ月間休まずに実技、学科に参加できて良かった。
- ある程度の技術を身につけることができた。現場に出て、研修で身につけた技術が発揮できるように頑張りたいです。
- 板継ぎが少しくまくなったのでよかった。
- 基本が分かりました。
- 技術が向上した。知識も向上した。
- 実技では些細なことも教えてもらえて分かりやすかった。

2. 溶接・鉄工分科会 一般コース【講師】

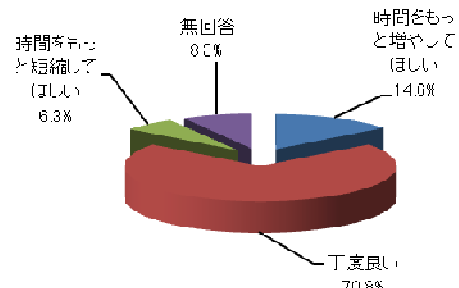
本項は、平成 28 年 9 月 3 日から平成 28 年 12 月 10 日まで（延べ 14 日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 一般コース」の講師および補助講師 62 名中 48 名からのアンケート回答についてまとめたものです。



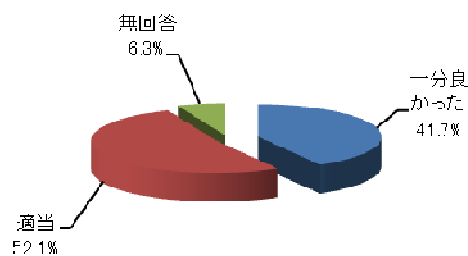
座学研修の日程について (n=48)



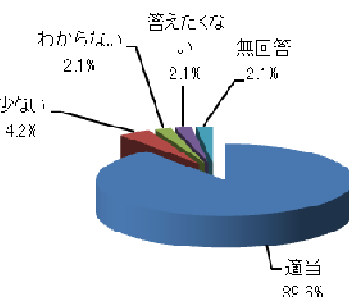
実技研修の日程について (n=48)



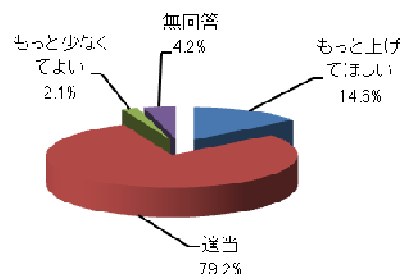
研修の場所や設備について (n=48)



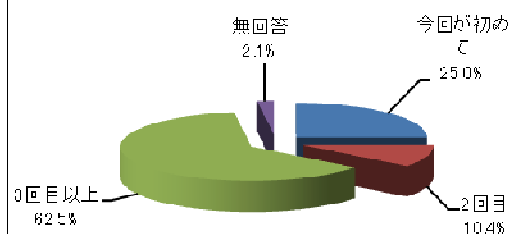
講師・補助者の配置について (n=48)



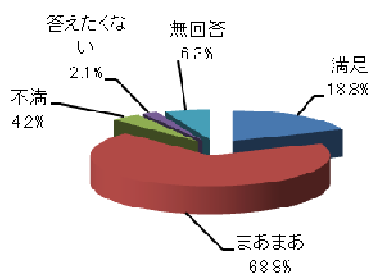
講師料について (n=48)



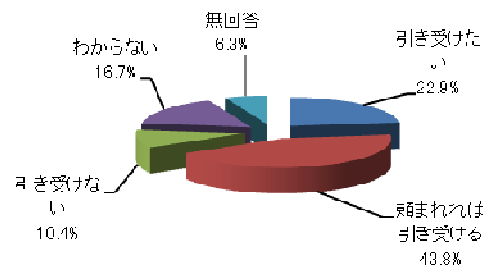
講師・補助者の経験回数について (n=48)

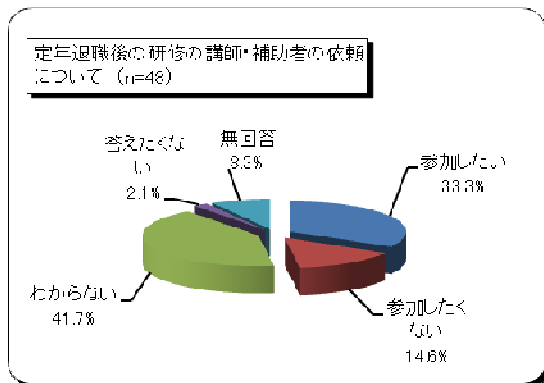


研修の満足度について (n=48)



次回研修の講師・補助者依頼について (n=48)





研修目標、新しい課題の導入、改善要望について

- 幹事会社制度の廃止。準備や手配に掛かる時間は発生はしているので、会社に対して業務委託するか公社で対応すべきです。
- 補助講師の業務分掌が不明確なので、明確にしてほしい。また、片付けが時間内に終わらないことにより延長して時間外作業が発生しているので、時間内で終了するスケジュールまたは時間外費用を検討して頂きたい。
- 溶接試験に合格することが目的であれば、他については行わずに短期間で溶接の座学、実技を行えば受講生や講師の負担も減り、受講生も真剣に取り組むのではないかと思います。
- 電流、電圧等の目安があれば助かります。実際したことのない作業もあるため。
- 立向きを受験する受講生は、もっと早い段階で本番用の練習をしたほうが良いと思います。
- 事前準備に時間が掛かっている。人数、人選を見直してはどうか。
- 曲げ試験が1回しかないなので、2回くらい行って結果を見せてはどうか。
- 仮付に隙間が出来たりして、よい練習ができない。
2番目の仮付が浮いてしまう ⇒ 足で押さえて付ける。
- 幹事会社の責任感不足。講師についても「口だけではなく実践する講師」への再教育が必要。
- JIS 試験練習からの「実技、切断、開先加工」の作業工程の見直しと開先切断機を1台から2台に増加。また、幹事会社の講師に開先面のグラインダー及び切断作業を願う。
(8:00~12:00)
- 三井造船の部長以上の方に高校生や一般コース受講生を対象に講演を願う。
題目「造船業の必要性」、「就職先を選ぶ一言」
- JIS 試験練習から当日のグループに三井造船の講師1名が移動講師を行う。
- 受講を応募して下さった企業の方々の意見を聞く、
 - ①現状のカリキュラムと希望するカリキュラムや技能、成果について
 - ②費用、日時等、受講生との面談によるアンケート調査
- 立向き受験希望者全員が受験できる研修、実習を目指す必要性があるのでは？
- 現行カリキュラムの実技に追加要望研修のアンケート。
- 事務処理、材料購入等の一元化。
- 次世代の講師育成及び発掘が急務。
- 材料、消耗品等のコストダウン。
- アーク溶接による課題製作が難しかった様に思う。もう少し簡単な物でよいのでは。

■受講生はほとんどが社会人であり、欠席することなく参加させるべきである。また、2S を行うことも研修の一つだと思うので積極的にやらせるべきである。

■TIG 溶接。

■TIG 溶接も取り入れてみてはどうでしょうか。

■受講生との茶会または交流の場を設けて、相互のコミュニケーションが取れたらよい。

■謝金の改善要望

座学：4,000 円／時間、5,000 円／時間 実技：3,300 円／時間、10,000 円／時間

補助：1,500 円／時間、3,000 円／時間

研修の感想等

■受講生が居眠りせず話を聞いてくれて良かった。少しでも知識の向上につながればと思います。

■実技講師は受講生に対してもっと積極的に教えるべきである。(一部の講師が該当します。)

座学では、眠る受講生が 1 割程度います。受講生に問題があると思いますが、講師も何らかの工夫が必要であると思います。補助講師の対応は鍵開け、プロジェクター準備、出欠確認、片付け、戸締りではないかと思いますが、安全上問題である実技の補助までさせられたことには納得できません。

■受講生によっては教えてもあまり返答のない感じの受講生もいて、少し対応に困る事があった。

■設備と環境が整っていて教えやすかったです。受講生の技量や性格を見抜いて、その人にあった教え方をしなければならぬのが難しく、私自身の勉強にもなりました。

■初めて講師として行き、自分がまだ力不足だと感じました。これからもっと技術を上げて、次にいかしたいと思います。

■みんなやる気があって良かったです。

■受講生の姿勢が良かった。

■実技（テストピース）を行う前に細かなルールの資料を渡せば良いのではと思いました。例えば、「溶接の下向きの時のビード方向は？」、「仕上げ層の方向に対し曲げは表曲げ、裏曲げ」、「立向きの場合は、テストピースを台から外してはいけない」など説明を書いたものを置けば良いのでは？

■全体的にまとまりがあって良かった。

■受講生に教えるにあたって、受講生の性格や本人の溶接の技量がどのくらいかを判断して指導するのが大変でした。

■受講生が授業を熱心に聞いてくれて良かった。

■受講生が授業を熱心に聞いてくれて良かった。

■実技講師それぞれやり方が多少違うので、グループで受講生を固定させて行ったことが良かった。

■各グループ担当の講師にもっと熱意がほしい。

■2 年間、大変疲れました。

■とても楽しくできました。

■初めてだったので、教えるのが難しかった。

■色々と勉強させて頂きました。

■指導するにあたり、講師の側も勉強（指導方法の統一、最低限の知識）が必要ではないかと思う。

第6章 ものづくり体験研修について

第1節 実施計画

1-1 研修の目的

主として高校生並びに市民へ「技術のまち玉野」の再認識及び理解の促進を図るとともに「ものづくり」の喜びや創造の楽しさ等興味の喚起を行い、地元就職率・定着率向上を目的とする。

1-2 研修の概要

分科会	コース名	受講生数	研 修 概 要	日 時	場 所	対象者
溶接・鉄工	模擬インターンシップコース	23名 男子20名 女子3名	造船所見学	7月23日(土) 午前中3時間	三井造船 技能研修センター	高校生
			溶接、切断体験	7月25日(月) 7月26日(火) 8時間×2日		
			船の種類、構造、設計図の見方、船の作り方 モデルシップ製作	7月27日(水) 7月28日(木) 7時間×2日	産業振興ビル 展示・会議室	

1-3 受講生募集

玉野産業振興公社のホームページへの募集案内掲載並びに市内の高等学校への訪問による募集等を行い、市内外の高校生を対象として研修を実施した。

1-4 講師の選定

これまでの講師実績を基にご協力いただいた企業の社員及びOB社員より選定した。

1-5 その他

- 平成22年度から平成26年度までの模擬インターンシップコース受講生の進路状況調査を行った。
- 本年度をもって、モデルシップ(2隻目)が完成したため、来年度以降のモデルシップ教材の検討並びに関係企業に支援・協力要請を行った。

第2節 研修内容と状況

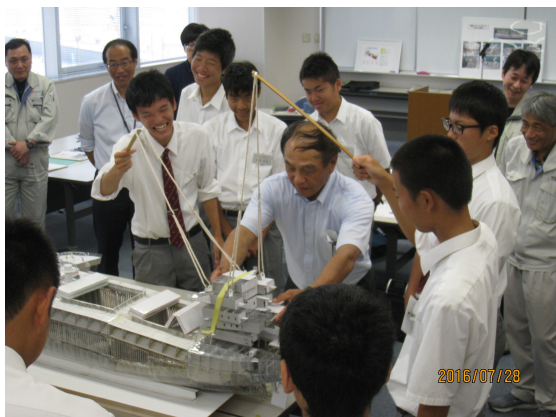
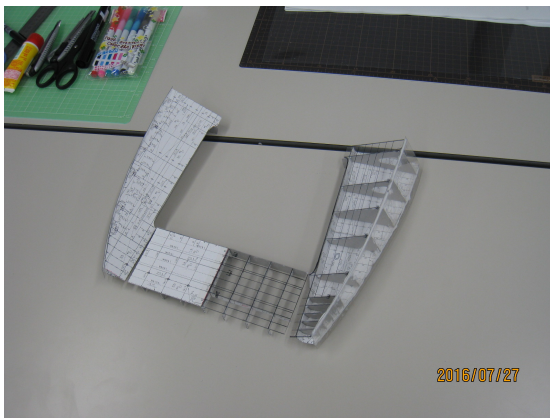
2-1 溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース

模擬インターンシップコースのカリキュラム

時間	7月23日(土)	7月25日(月)	7月26日(火)	7月27日(水)	7月28日(木)
～8:00					
8:00～8:30	集 合	集 合 作業服着用	集 合 作業服着用		
8:30～9:00	作業服着用			集 合	集 合
9:00～10:00	開講式 オリエンテーション	グループ毎に CO ₂ 溶接、ガス切断、 アーク溶接	グループ毎に CO ₂ 溶接、ガス切断、 アーク溶接	船の種類・構造、 設計図の見方、 船の作り方	モデルシップ 製作
	工場見学の 安全注意				
休憩 (10:50～10:15)	(保護具のチェック)	休 憩	休 憩	休 憩	
10:15～12:00	造船所見学 ハナカイト使用	グループ毎に CO ₂ 溶接、ガス切断、 アーク溶接	グループ毎に CO ₂ 溶接、ガス切断、 アーク溶接	モデルシップ 製作	
休憩 (12:00～12:50)		休 憩	休 憩	休 憩	休 憩
13:00～15:00		グループ毎に CO ₂ 溶接、ガス切断、 アーク溶接	受講記念製作	モデルシップ 製作	モデルシップ 製作
休憩 (15:00～15:15)		休 憩	休 憩		閉講式
15:15～15:45		グループ毎に CO ₂ 溶接、ガス切断、 アーク溶接	受講記念製作		
		後片付け／終礼	後片付け／終礼	後片付け／終礼	
研修場所	三井造船技能研修センター			産業振興ビル	

研修写真（模擬インターンシップコース）





第3節 受講生及び講師アンケート

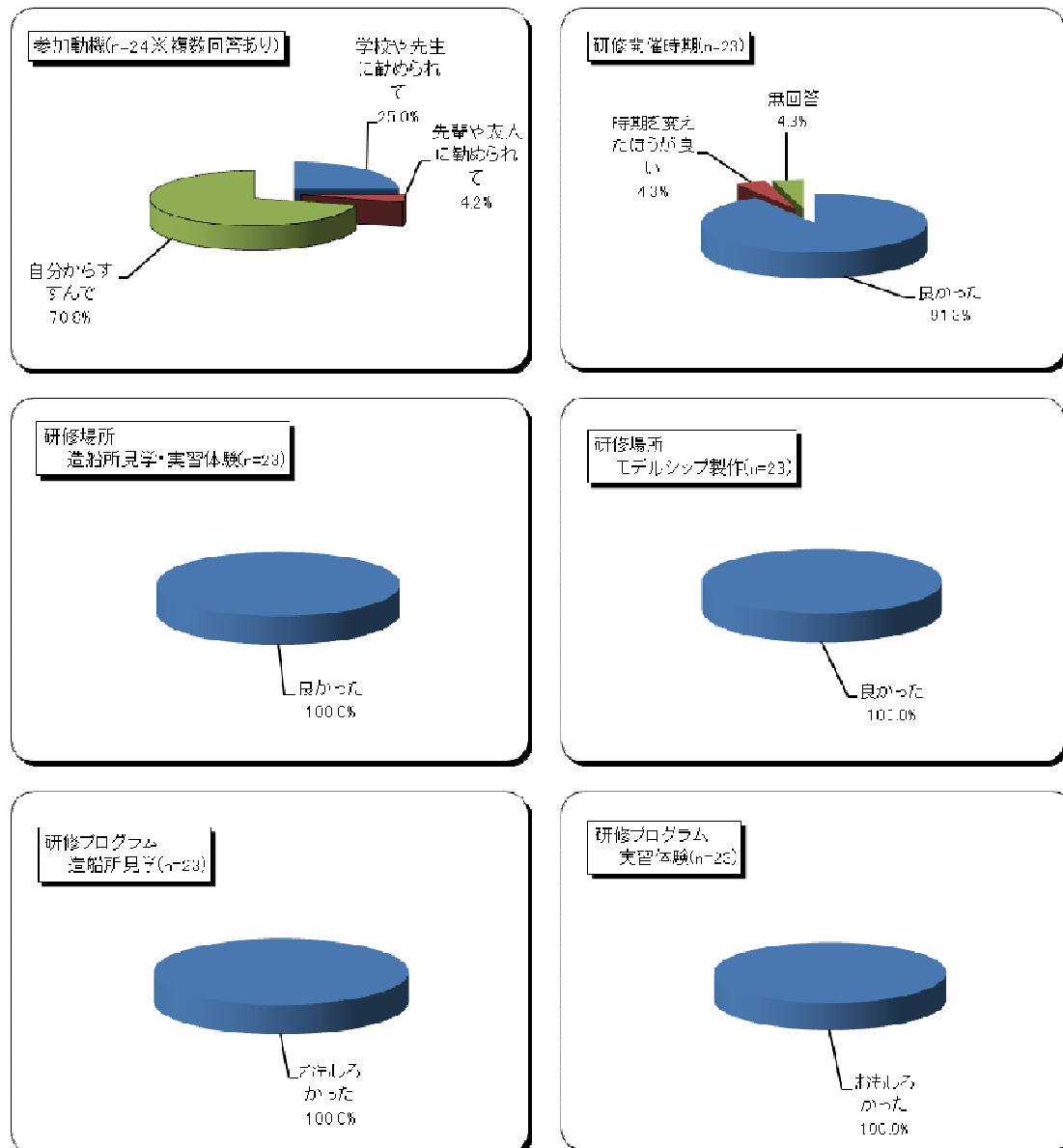
3-1 溶接・鉄工分科会

1. 溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース【受講生】
2. 溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース【講師】

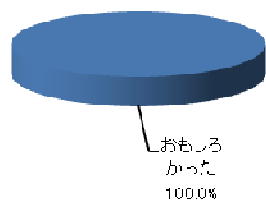
3-1 溶接・鉄工分科会

1. 溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース【受講生】

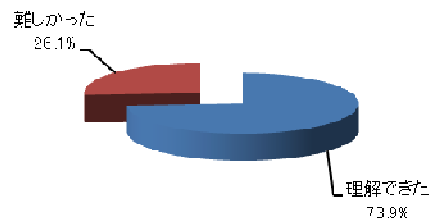
本項は、平成 28 年 7 月 23 日から平成 28 年 7 月 28 日まで（延べ 5 日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース」の受講生 23 名からのアンケート回答についてまとめたものです。



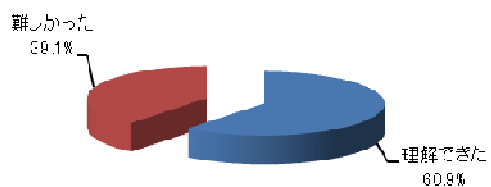
研修プログラム
モデルシッ製作(n=23)



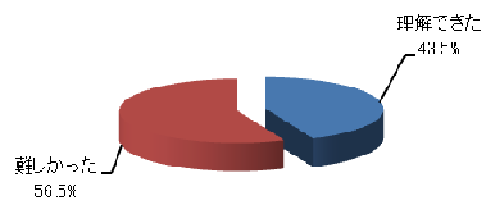
研修の理解度
造船所見学(n=23)



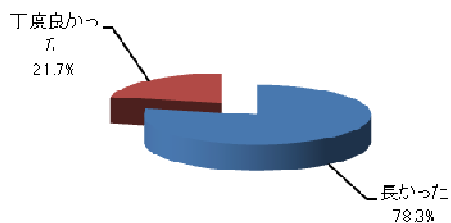
研修の理解度
実習体験(n=20)



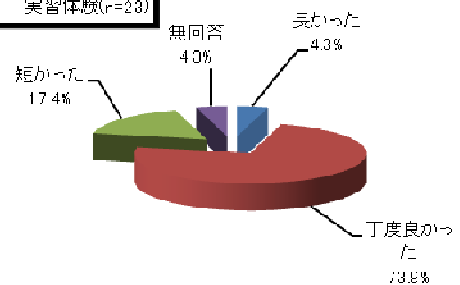
研修の理解度
モデルシッ製作(n=23)



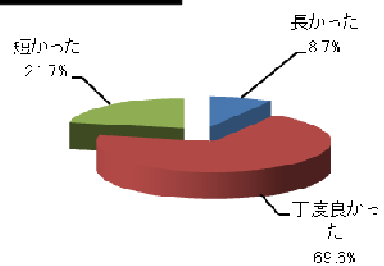
研修時間
造船所見学(n=23)



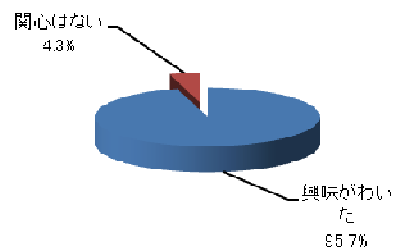
研修時間
実習体験(n=23)



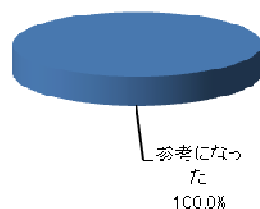
研修時間
モデルシッ製作(n=23)



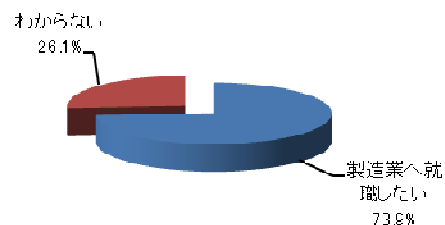
ものづくりへの関心について(n=23)



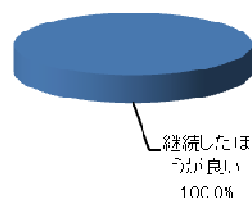
職業選択の一助になったか？(n=20)



製造業への就職について(n=23)



研修の継続について(n=23)



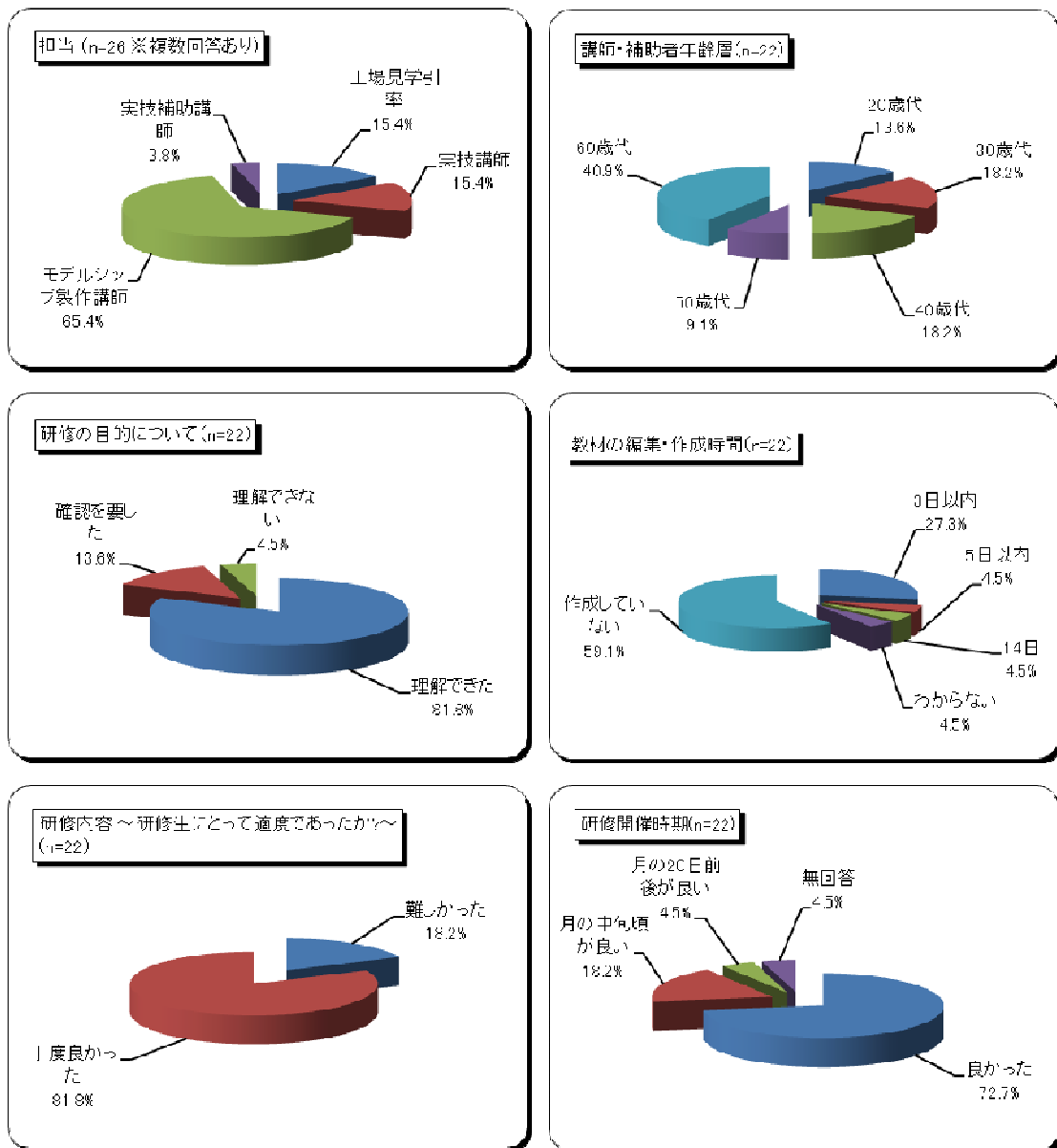
研修の感想等

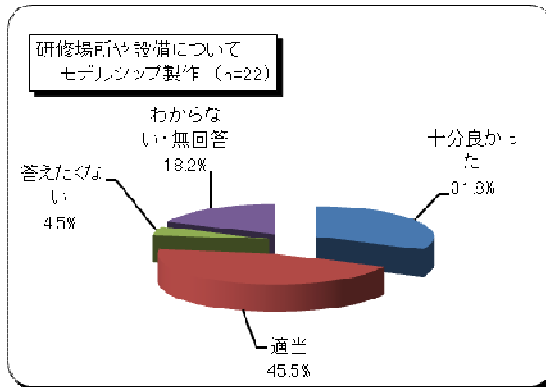
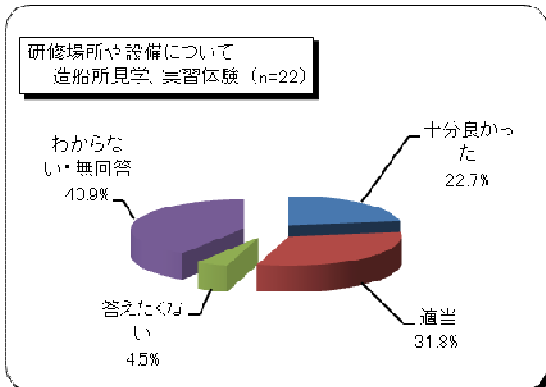
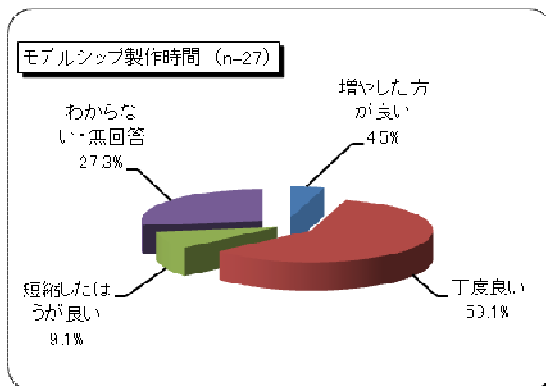
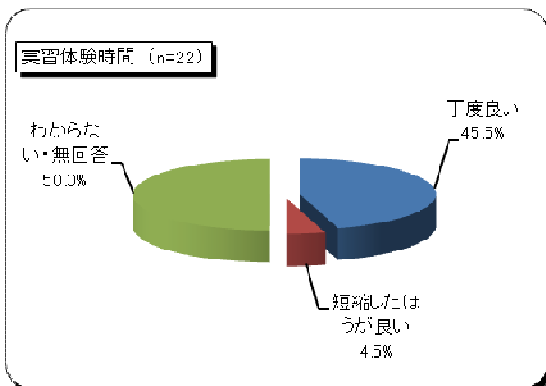
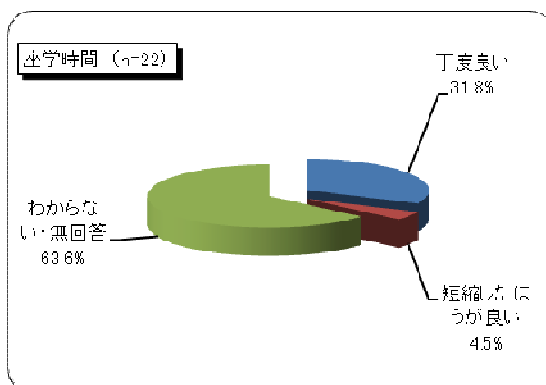
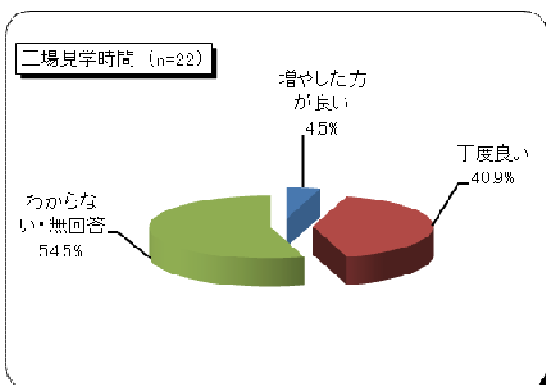
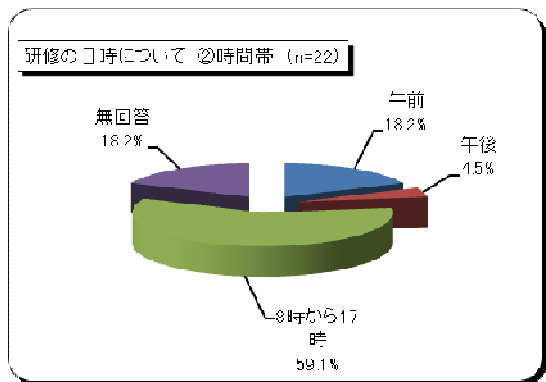
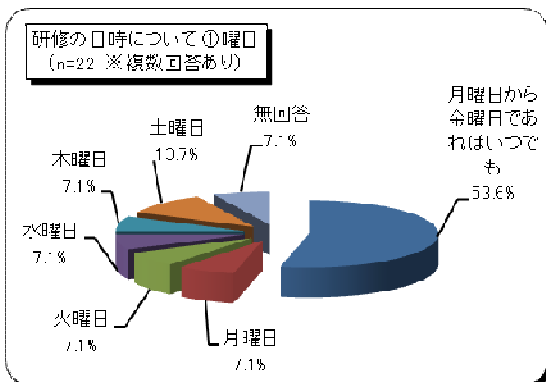
- 普段の学校生活で体験できないことを体験できたので良い経験となりました。こうして実習することで物を作ることの大変さと楽しさを体で感じるができるので、進路に悩んでいる人たちへの大きな助けとなるだろうと思います。今後も継続していくべきだと思います。講師の方々も不器用な僕に何度も何度も教えてくださるような優しい方々でしたので、快く実習を受けることができました。有難うございました。
- 受講して働くことの大変さや難しさが分かりとても良かったです。体験したことをこれからも活かしていけたに良いと思いました。大変有難うございました。
- 5日間あった職人塾は、長いようで実際には短かったように思いました。三井造船の溶接・切断の体験実習、産業振興ビルでのモデルシップは僕にとって人生を変える、進路の参考になる貴重な体験だったので、またいつかやってみたいと思いました。三井造船のみなさん、それから職人塾でいろんな指導をしてくださったみなさんに本当に感謝しています。5日間、有難うございました。
- みんなで協力して船を作っていて、一体感もあって楽しかったです。
- 講師の方がやさしくて良かったです。教え方も上手だったので分かりやすく、自分のためになりました。
- 質問したら必ず答えが返ってくるのがとても良かったと思いました。
- 自分は将来、製造業に就職したいと思っているので、三井造船での研修で製造業のことが色々学ぶことができたので良かったです。

- 船を作る所等のざっくりしたことしか知らなかったのですが、自分の知らないことを知ることができたのでとても良かった。これからの自分の職業選択をする大切な時間を過ごせました。5日間ありがとうございました。
- 自分は製造業のことを理解していませんでしたが、このインターンシップを通していろいろ知ることができ、そして体験することができたので将来の就職で役立てたいと思います。
- 女子でも受け入れてくれて良かったです。とても楽しくできました。こういう仕事につきたいと思いました。
- 職人塾での5日間で三井造船で働かせていただきたいという気持ちが強くなりました。今回の体験は絶対に忘れず、将来にいかしていきたいです。
- 製造業についていろいろ学べた。船はどうやってできるのかがよくわかった。溶接や切断を体験できたのはとてもよかった。いい経験になった。
- 溶接や切断はやったことがなかったので、将来の道が切り開ける部分があり、受講して良かった。三井造船に就職したいと思っているので、それに対する体験ができ、非常にうれしかった。
- この5日間の経験は本当に自分のためになった。製造業について興味や関心がわいた。難しいことも多かったけど自分のためになったので、これからいかしていけたいいいと思う。
- 今回受講して、普段の生活では絶対に出来ない溶接やモデルシップ製作が出来てとても良かったです。講師の方も優しく質問しやすかったので、とても良かったです。
- 今回の職人塾を受講して、とても良かったと思いました。そして講師の先生はとてもやさしく、親切に教えてくれました。とても楽しく職人塾を終えることができて良かったです。
- CO₂溶接、アーク溶接、ガス切断をするときに講師の方がやさしく教えてくれました。改善要望はありません。本当にすばらしい体験ができました。
- 溶接、切断がおもしろかった。もっと時間がほしかった。この職人塾では、普段学校ではしないことをして、いい体験になった。いつもは学校でずっと座って頭を使っているけど、自分にはこのような体を動かしている方が向いていると思った。たのしかった。
- 受講して、溶接についてたくさん知ることができ、溶接の難しさや大変さがわかりました。受講前よりももっと製造業に就職したいと思う気持ちが増えました。モデルシップ作りでは船の構造を理解することができ、船を作る大変さを改めて実感することができました。
- 職人塾の前日までに三井造船の職場や工場について色々調べたつもりだったけど、知らないことがたくさんあり、とてもためになりました。僕は高校卒業後、三井造船に「製造業だから入りたい」と思っていたけど、この職人塾に参加して「三井造船だから入りたい」というようになりました。三井造船に入れるように今日からまた勉強や学校生活をがんばっていこうと思いました。5日間ありがとうございました。
- 三井造船がどんな企業かを知ることができた。製造業について興味わいた。
- 三井造船ではどんな仕事をするのかきちんと知ることができてよかったなと思います。今回の職人塾に参加するまであまりものづくりへの興味はなかったのですが、参加してものづくりも仕事をするうえでわるくないなと思いました。

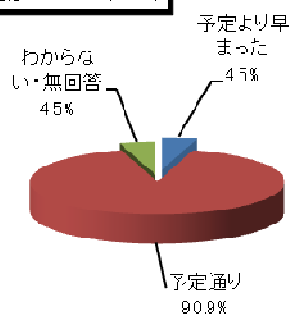
2. 溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース【講師】

本項は、平成 28 年 7 月 23 日から平成 28 年 7 月 28 日まで（延べ 5 日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 模擬インターンシップコース」の講師・補助講師 36 名中 22 名からのアンケート回答についてまとめたものです。

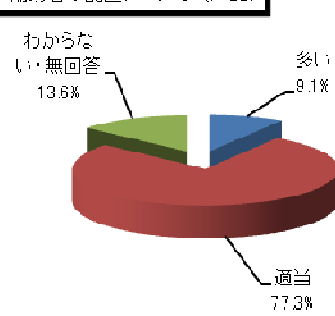




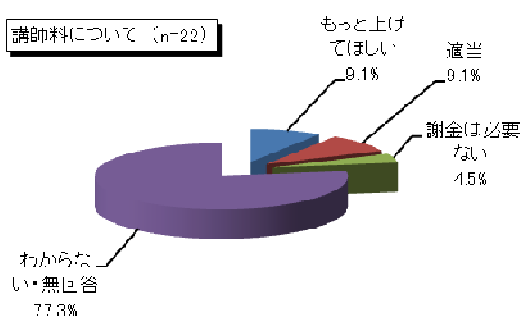
研修の進捗について (n=22)



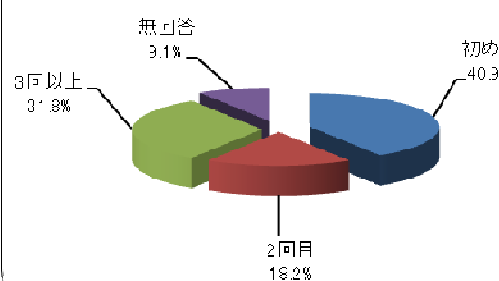
講師・補助者の配置について (n=22)



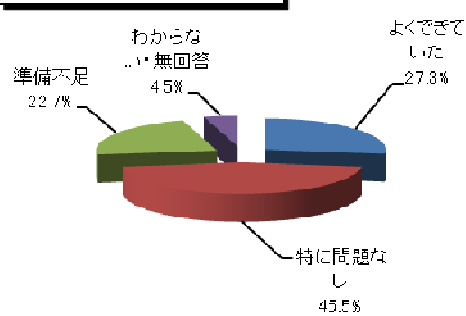
講師料について (n=22)



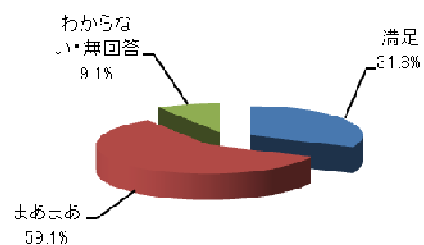
講師・補助者の経験回数について (n=22)



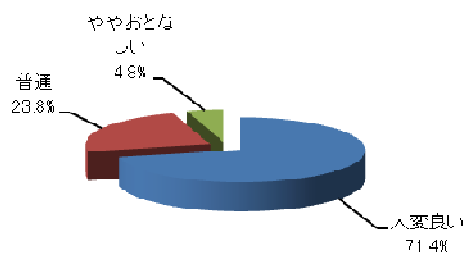
研修の事前準備について (n=22)



研修の満足度について (n=22)



受講生の印象について (n=22)



受講生へ一言

- 今後に活かしていただきたい。
- 今後の進路選びの参考にしてもらいたい。
- 非常に前向き、真面目という印象でした。今の気持ちで入社すれば、どの会社でも活躍できると思います。頑張ってください。
- 真剣であり、良かったと思う。
- 今回の体験を将来に活かして欲しい。
- 元気があれば何でもできる。
- 理解が早く、講師として楽に作業が出来たので、たくさんの仕事をこなしてもらえて良かったです。サボる事もなく、熱心で良かったです。
- しっかりと受け答えをする子が多かったので、とても良い印象が残りました。その調子で頑張ってください。
- みなさん真面目で、一生懸命取り組んでいて良かった。
- 前向きに取り組んでいた。
- 自分たちの未来を信じて、自分を信じて進んでください。
- モデルシップ製作には器用、不器用はあるが、一生懸命やることに意味がある。今後も頑張ってください。
- 実体験をすることは、将来の職種を選ぶにあたってとても参考になると思うので、機会があれば様々な講義に積極的に参加してってください。
- 商業科でも工業科に引けをとらない技術を持てる事を分かってほしい。何事にも向上心をもって挑んでももらいたい。
- 失敗を恐れず前向きに実習を行っていた事は非常に良かったし、三井造船の研修生にとっても良い経験であったと思います。進路を選択する上で為になったのであればとても幸いです。目的意識を持ってよく考えて決めてください。有難うございました。頑張ってください。
- 職人塾を機に進学か就職かを3年生のなる前くらいで学校生活を送ってほしい。
- よくやっていたと思います。
- 造船の町玉野で育ち、学んできたことが誇りとなるような研修であったと思います。今後、ものづくりに携わる仕事に就けるといいですね。

研修への意見・要望・感想

- モデルシップ製作に2日間は長い感じがした。平日ではなく、土曜日に実施していただきたい。
- 若者とかかわる時間がもてて良かった。
- 月末に研修を実施するとどうしても業務に支障が出るので、少しでも日程をずらしてほしい。
- 受講生は真面目で熱心に取り組んでいた。感心しました。
- 会社にとって非常に負担である。次回についてはよく検討すべきである。モデルシップ作成は親会社である三井造船が主でやるべきであると思う。
- 研修の目的についてもっと周知が必要。(特に協力企業に対して)
- 良い経験となったが、準備が大変だった。
- モデルシップ製作の際、瞬間接着剤があれば更に多くのブロックを作ることができる。竹串でボンドをのばしたかった。野上さんが居ないとこの研修の実施は無理だと思いました。

- 初めてのインターンシップへの参加であったため、どの様に学生と接すれば良いか不安でしたが、素直な子ばかりでしたので自然に接することができました。
- モデルシップ製作で受講生を1チーム3名にしたことは、各自が遊ぶことなく取り組むことができたので良いと考えます。
- 初めての体験で、自分自身が勉強になった。
- こちらの方がもっと学ばなければならないと思いました。
- 受講生の人数がちょうど良かったと思います。手待ちやボーッとする時間が無いので良かったと思います。
- 三井造船の技能研修生にとっては、初心者に教える大変貴重な体験になると思う。今回、運営者側で材料を手配していただいたが、保護具の管理、手配もしていただけると助かる。
- 実習体験で事前に保護具の着用をしていたので、実習の取り掛かりが早くて良かった。今年度の三井造船の研修生にとっても指導力を学べる事が出来たのは大きい。
- 実習課題の材料確認不足により数量が足りないことに事前に気付き、なんとか間に合わせて実施することが出来ました。次回は過信せず、前もって確認します。
- 工場見学や実習の際、飲料水が準備されていてとても良かった。受講人数も20名前後が適当であると思う。
- モデルシップの材料の不足、切断器具（カッター、ハサミ）、ボンド等については人数分あればよかったと思います。
- 商業高校の生徒だけではなく工業高校の生徒にも参加してほしい。
- 業務が多忙であるのにも関わらず、職人塾で時間をとられて非常に大変である。今後は船づくり直接関係がある三井造船もしくはOBを中心にやってほしい。来年以降は上司の反対もあり、参加することはできない。今年で最後にしてはどうか？
- モデルシップについてはもっと作業量を多くしても良いと思います。結構手持ち無沙汰です。

平成 28 年度職人塾 報告書

発行日 平成 29 年 3 月
発行所 一般財団法人 玉野産業振興公社
〒706-0002
玉野市築港 1 丁目 1 番 3 号
電話 (0863)33-5000
e-mail san-bill@zai-tama7.or.jp
URL <http://www.zai-tama7.or.jp/>